



人間の行動原理と原則にもとづいた

smart creative management

o to 1

【世界初】需要創造の芸術と科学

NEWS RELEASE

2021年5月28日

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所

ABAオペレーションズ研究センター

リクエスト株式会社

社内講師の『即時習慣形成法™』発売

～ 受講者の自律性と創造性を引き上げる具体的なやり方 ～

研修講師の役割は「受講者が研修後に行動や思考を具体的に覚え成長していくサポート」。しかし、実際は各部署から依頼されたテーマに関連するパワーポイントスライドの説明、資料の読み聞かせ、ひどい場合は伝達で終わってしまっている。社内講師に非は無い。「社内講師をするように」と指示され、先輩社内講師のやり口を参考に、職務をこなしている。そもそも、先輩社員も「何が正しいのか?」「そもそもの目的が何なのか?」を経験にもとづき自信を持って伝えることができない。組織のコストダウンが目的で進んだ社内講師制度ですが、効果が出ていないのが実情。一方でオンラインでの関わりが増えていく中で、ますます社内講師の役割範囲が拡大している。では、どうすれば、社内講師は受講者に「できるようになってもらう」関わりができるようになるのか?

ABA Operations Research™ ABAオペレーションズ研究センター

based on Art and Applied behavior analysis
応用行動分析学にもとづいた

芸術と応用行動分析学にもとづいた
smart creative management
クリエイティビティの再現

受講者の自律性と創造性を引き上げる

社内講師のための【即時習慣形成法™】

imagine ultimate

社内講師の『即時習慣形成法™』研修プログラム：

1. はじめに確認しておきたいこと
2. オンラインのメリットとデメリット
3. 研修講師の種類
4. 研修講師の幻想を捨てる
5. 「社内講師の5つの成長ステップ」を知る
6. 「社内講師の3つの成長ステップ」実際にやってみて理解する
7. ご自身の直近の研修を題材に話す内容を組み立てる
8. プログラムを自分事に変えていくカスタマイズのワンポイント
9. より受講者の立場で受講者のことを想像していくために
10. 改善をつづけるために
11. 忘れてほしくない大切な姿勢・考え方

特に重視しているのは「研修講師の幻想を捨てる」です。

- 「教えてあげようとする」は必要ない
- 「流暢にプレゼンテーションをする」は必要ない
- 「できる限り多くを教えようとする」は必要ない
- 「勉強になりました」「いい話を聴きました」は必要ない
- 「理解してもらえているか不安に思う」は必要ない

本プログラムでは、これらがなぜ幻想なのかを

応用行動分析学にもとづいた実験結果を踏まえお伝えしています。

その上で「社内講師の5つの成長ステップ」で今後の職務のステップを俯瞰。

ステップ1：受講者が「講師の話聴きたくなる」ように、講師が「伝わるように伝える」

ステップ2：受講者が「“できていない”に気づく」ように、講師が「問いかけ一緒に考える」

ステップ3：受講者が「仕事でやってみたくなる」ように、講師が「勘所を伝え動機づける」

ステップ4：受講者が「抱えている問題がみえる」ように、講師が「正しい状態例をみせる」

ステップ5：受講者が「問題の解決に取り組める」ように、講師が「はじめの一步をしめす」

そして、ステップ1から3までのすぐにはじめられる14個の具体的なハウツーをその効果と背景と合わせ、実際にやってみながら身体感覚で理解していきます。

最後に実際にご自身が今後、担当する研修プログラムを題材に、具体的にどうやってご自身の行動と思考を設計し、それを習慣にしていけばよいのかを身に付けていきます。

1つ1つのハウツーは受講者のできることを増やしていくための手段。手段を目的化しないための“考え方”と“あり方”を明らかにし上で、すぐに実践できる具体的なハウツーを使い、自分自身のやり口の問題点に気づいていく。問題点に気がつくことで、他のハウツーを身に付けていく意欲が高まっていきます。



芸術と応用行動分析学にもとづいた smart creative management[®]

クリエイティビティの再現



【会社概要】 社名： リクエスト株式会社 URL：<https://requestgroup.jp>
代表者：代表取締役 甲畑智康 URL：<https://requestgroup.jp/profile>

【事業内容】：需要創造型リーダーの開発[®]、自律型人材(メンバー)の育成、ロボットのマネジメント：
「リーダーが人とロボットと共働し需要を創る」をミッションに「需要創造型リーダーと自律型人材(メンバー)に必要な思考と行動」「ロボットのマネジメント手法」の研究開発と実地訓練に取り組んでおり、約 820 社、従業員数 30,000 人の組織から年商 30 億円までの中堅企業、上場準備直前のスタートアップ企業への開発提供実績を有しています。また“需要創造の芸術と科学”をテーマに、人間と組織の行動に着目したビジネスの創造力、人間がマネジメントしやすいロボットのユーザーインターフェースの実験検証をするスマートクリエイティブマネジメント総合研究所と ABA オペレーションズ研究センターを構えている。スマートクリエイティブマネジメント[®]は弊社の登録商標です。

【過去の商品リリース】

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/68315

【本リリースに関するお問い合わせ先】

担当：末光

e-mail：request@requestgroup.jp


問合せフォーム：<https://requestgroup.jp/request>



oto 1 ABA Operations Research[®] ABAオペレーションズ研究センター
based on Art and Applied behavior analysis 芸術と応用行動分析学にもとづいた smart creative management クリエイティビティの再現

**部下の自律性と創造性をOJT・実地訓練で上げる
リーダーの行動シナリオ™【実践編】**

1.やり方を具体的に伝わるように示唆する 2.見守る。できているを伝え、改善点を示唆する 3.具体的な振返と先読の想像を促す問いをかける



弊社を知っていただくために、
実際にクライアント先で使用しております
テキストを無償公開しています。

以下の URL からご覧いただけます。

<https://requestgroup.jp/free>